

平成29年度 酒田市公益活動支援補助金交付事業

No.	団体名	事業名	事業概要	事業実施内容
1	トラウベの会	家族とお産の写真展	身近ではなくなってしまったお産の写真をたくさんの方々にご覧いただき、お産について、命について、子育てについて、話し合いや相談事業を実施する。	ままと赤ちゃん、家族が主役のお産をテーマにした写真展示をどんしゃん祭りにあわせ、10月14、15日交流ひろばで展示を行い、ファミリー層を中心に100名程度の集客があった。また、10月15日の講演会「あなたが生まれたときのこと」には、中学生も参加し約30名の参加があった。 この写真展や講演会を通して、自身のお産について、将来のお産について、命について、子育てについて、参加した方々のそれぞれの立ち場で考えるきっかけをつくることができた。
2	side bee project	小さな運動ジムのフラワーエクササイズ	介護・福祉に携わるスタッフが中心となり、リズム体操を軸にした健康増進コンテンツを作成。市民の集いの場やきっかけづくりにつなげる。	普段、医療・福祉の現場に従事するメンバーの強みを活かしながら、楽しく取り組める運動コンテンツの企画、作成を進めた。運動メニューは健康運動実践指導者、理学療法士が考案。本編で使用する楽曲、映像も酒田発信のオリジナルティを目指した。また地域の人形劇団にも力添えをいただき、運動のみならずペーパーフラワーの作成や人形劇も収録した。DVDは、集いの場所作りの推進に活用するため、各コミュニティ振興会や地域包括支援センター等に配布した。
3	NPO法人 アイル酒田	人とまちの元気をはぐくむ「スポーツシティ酒田」	スポーツイベントの誘致等により交流人口の拡大で地域の活性化を目指す。(2年目)	2月10日中町にぎわい健康プラザ「集いのスペース」にて「スポーツイベント誘致活動のフロに学ぶ(Part 2)」と題し、武田均氏(公益財団法人仙台スポーツ振興事業団常務理事事務局より講演していただき、スポーツイベント誘致によって、交流人口の拡大、地域経済の活性化、競技力の向上、さらにあらゆる側面から情報発信ができ、本市の知名度向上につながるなどのお話をいただき市民の知識(意識)向上につながった。(参加者42名)
4	路地裏芸人' S	ジャグリングやバルーンアートを体験する事業	以前から興味を持たれていた方や初めての方を対象に、ジャグリングやバルーンアートを体験していただき、将来的な地域活性化につなげる。	ジャグリング体験会(9/16)を実施し、参加者6名でメンバーと交流しながら、楽しく学ぶことができた。また、バルーンアート体験会(12/16)では、外部講師を招きクリスマスのリース作りなど親子で楽しむ姿が見られ、メンバーの技術向上にもつなげることができた。(36人参加)
5	あおそ工房あざみ	からむしを育てる事業	からむしの繭物等を製作するためには、からむしの刈り取りから糸にするまでの工程が必要である。その技術を後世に受け継ぐための担い手育成を行い、からむしについての理解を広めていく。	5月下旬から11月下旬まで、からむしの刈り取りを計15回、延べ参加者46名で実施。からむしの刈り取りから糸にするまでの工程を学ぶ機会を提供できた。さらに、担い手養成講座を実施。9月(産業フェア会場内)10人、10月(若浜コミセン)20人、11月(まちなかキャンパス)6人、計3回で36人の参加があり、からむしについての理解促進につながった。
6	酒田港イベント実行委員会	獅子王、遊佐カレマンプロレスによる酒田のまちづくり事業	獅子王及び遊佐カレマン等のプロレスラーキャラクターによるプロレスイベント、展示イベント、チャリティ等を通じて地域の活性化につなげる。(3年目)	5月19日実施。市民及観光客等集客約1100人が大会を楽しみ、酒田まつり高祭りを盛り上げることができた。また、獅子王、遊佐カレマン等のグッズ展示(みなと市場、北前横丁屋台村、若葉旅館等)や2月16日には公開型シンポジウム『プロレスによる酒田のまちづくり』(46名参加)を開催により酒田市のまちづくり及び観光振興に寄与することができた。
7	八幡活性化グループ(YKG)	いす1-GP北庄内大会	商店街の活性化を図るために始まった「いす-1グランプリ」。この全国的に注目されているイベントを酒田市(旧八幡町)で開催し、大会そのものを楽しんでもらうのと同時に地元での活性化を図る。(2年目)	昨年に引き続き、旧八幡観音寺通り商店街にて「いす-1GP 北庄内大会」を実施。県内より22チーム、県外より2チーム計24チーム参加して大いに盛り上がった。また、小さい子供から年配の方まで幅広い年代の方で道沿いにぎわい、地域活性化につながった。(飲食ブース7店舗) また、今回は大会パンフレットに店舗の協力により「クーポン券」を掲載し、地元商店等の集客につなげることができた。
8	絆盆栽を愛する会	可愛いミニ盆栽作り	盆栽に興味のある方々と、地元の一人暮らしの高齢者、震災の被災地で一人暮らしをしている高齢者の方に提供する「絆盆栽」を楽しみながら作る。(2年目)	5月から9月までの5ヶ月間、会員や一般市民の方々と、寄贈する219個の盆栽を製作した。 高齢者・被災者同士の交流を促し「孤独死」防止につなげるため、泉学区コミュニティ振興会(73個)・松陵学区コミュニティ振興会(83個)の地域内の高齢者と石巻市下釜第1町内会に50個(石巻めぐみ野ライオンズクラブの協力により提供し、コミセン、自治会、高齢者等との交流を図った。 その他、市内コミセン(泉・松陵・田沢・本郷・富士見・琢成)、石巻めぐみ野ライオンズクラブ、社会福祉協議会、健康生活協働組合のロビー等に飾っていただくことで、高齢者の交流のきっかけ作りや次年度以降の事業につなげた。
9	SAKATA SB (サカタエスピー)	スケートボード普及活動と地域活性化事業	スケートボードを健康的なスポーツとして認知してもらい、愛好家の増加と青少年の育成及び活動を通しての地域貢献を目的とする。(2年目)	スケートボードスクールは7回を実施。うち酒田祭りのイベントにあわせて体験イベント1回、さらに昨年に引き続き、えみし祭りの会場で1回実施した。参加者は3歳から28歳までの子供から大人まで幅広い年齢層で計95人(昨年7回、参加者83人)が参加し、スケートボードの基礎を学ぶと共に世代や地域を越えた交流が図られた。 また、スケートボード大会(9月24日)については、トッププロによるデモの開催と交流も行いながら実施。大会は、初心者クラス、一般参加クラスに加え、今年はガールズクラスを設け県内外からも多く参加していただいたことで、酒田市のPR及び集客にもつなげた。
10	雪かき道場開催実行委員会	雪かき道場 in 酒田市日向	中山間地域における雪問題は、日常生活に支障をきたす課題の一つであるが、その除雪対策として雪かきの効率的な技術を学び、危険な作業が伴う屋根雪下ろしを安全に行う方法を習得する。	11月25日 事前講習会として、「ワークショップ」を開催(30名参加)、1月20日から21日にかけて、「雪かき道場 in 酒田市日向」を開催し県内外からの参加者(40名参加)が実技講習を取り入れた雪かきの実践を学んだ。雪かきを安全かつ効率的に行う技術を習得することで、中山間地域における雪問題に対応できる人材育成につながった。
11	NPO法人 酒田みなとまちづくり市民会議	【もしえのん あののん音頭】による地域の輪づくり事業Ⅱ ~完成したBON踊りのCD・DVD製作による”地域の輪”普及活動~	昨年度、酒田市のマスコットキャラクター「もしえのん あののん」をモチーフに、親しみやすい歌詞とリズムカルな曲調の音頭を製作。今年度はこの音頭のCD・DVDを製作し、市民はもとより酒田に訪れた観光客など、広く多くの人たちに季節に関わらず楽しめるBON踊りとして普及する。(2年目)	「もしえのん あののん音頭」を市民はもとより酒田に訪れた観光客など、広く多くの人たちに季節に関わらず楽しめるBON踊りとして普及活動を進めた。クルーズ船の酒田港寄航に合わせ幼稚園児への講習会を実施するなど、地域イベントの活性化、観光施設での観光客への新たなおもてなし、スポーツセンターでの市民の健康増進、物産展などでの酒田市のPRにつなげた。また、多くの人々が気軽に活用できるように、振り付けを分かりやすく解説した動画ツールと音楽CDを製作。CD(ジャケットにQRコードを印刷)は、コミュニティセンターや保育園等を中心に配布、動画はYouTube・フェイスブックにアップすると共に、貸し出し用としてDVDも製作した。
12	歌声ランドさかた	高齢者施設・デイケアの方々と歌声ランド実施	高齢者施設入居の方などに歌声をとおり元気を取り戻してもらう。また、にぎわい広場に市民が集い、歌声ランドで共に元気に過ごしていただく。(2年目)	4月、5月、6月、9月に2回ずつ健康プラザの集いのスペースにて歌声ランドを実施。通りすがりの人や、チラシを見て足を運んでくれた方たちが楽しく参加し、参加者の健康増進や中町のにぎわいづくりにつなげた。